

探訪 チャレンジ企業 83

我が子を想うママの声から生まれた一品
(商品名：しのはらのスリミー)

有限会社しのはら：森本

近年、若年層を中心に魚離れが深刻化していますが、地物の魚にこだわり、実直にすり身製品を作り続ける傍ら、もともと日本海で獲れた魚を食べてもらいたいとの思いから、新たな商品開発にチャレンジされているのが、今回ご紹介する森本の有限会社しのはらです。

一 すり身へのこだわり

当社は、昭和五十八年に創業し、当時は加賀能登銘品会の会員として全国の百貨店や物産展に出展し、いかめしやいか焼きといった惣菜を販売していました。

そんな折、魚のすり身を仕入れて販売してみたところ、各地で大変喜ばれ、これなら当社でもっと良いものが作れるのではないかと考え、平成十二年に魚のすり身の製造を開始しました。

上社社長のこだわりとして、できる限り日本海近海で水揚げされた魚を使い、その新鮮さを生かした骨丸ごとすり身を当社のウリとしました。また、化学調味料などの食品添加物を一切使用せず、さらに食品アレルギーの方にも安心して召し上がっていただくため、卵や小麦といった七大アレルギーにも配慮した商品に仕上げました。

二 活性化ファンドへの挑戦

当社の主力商品である魚のすり身は、冬場中心の季節性の高い商品であったため、夏場でも売れる新商品開発が大きな課題となっていました。

平成二十三年四月、森本商工会の岡本経営指導員から、いっしょに中小企業支援ネットワークアドバイザーに相談してみてもどうかと提案され、相談した結果、「いしかわ産業化資源活用推進ファンド(以下、活性化ファンド)にチャレンジすることを決断しました。

まずは、石川県商工会連合会主催の活性化ファンド事業計画書作成講座に参加し、この中で、

商品コンセプトの重要性を知りました。

その後、当社のすり身へのこだわりや独自性といった観点を、「小さなお子さんでも安心して食べてもらえるカレー風味のお魚ボールスリミー」を商品コンセプトとした事業計画書を作り上げました。

努力の甲斐あって、同年九月、無事に活性化ファンドの採択を受け、谷本石川県知事から採択決定通知書をいただくことができました。



上出英男 社長と谷本知事

三「しのはらのスリミー」誕生

商品開発に向けてクリアしなければならぬポイントは、大きく三つでした。一つ目が、日々子育てに忙しいお母さんでも簡単に調理ができること。二つ目が、魚嫌いなお子さんにも美味しく食べていただけること。そして三つ目が、商品コンセプトを一目で伝えるパッケージにすることです。

こうした難題を解決してくれたのが、料理研究家やマーケティングプランナー、そしてプロのデザイナーといった専門家のご支援でした。

そして、漸く新商品「しのはらのスリミー」を完成させることができました。



新商品「しのはらのスリミー」

四 販路開拓に込めた思い

しのはらのスリミーを広く県内外にPRするため、平成二十四年八月のプレスリリースを皮切りに、当社ホームページのリニューアルやフェイスブックページの開設、さらには、水産庁が消費者の魚離れに歯止めをかけるため推進している「ファストフィッシュ」の認定も受けました。

同年十一月には、「石川のこだわり商品フェア二〇二二」(於・大和香林坊店)及びニッポン全国物産展二〇二二(於・池袋サンシャインシティ)に出展し、大勢のお客様に試食していただきました。

同年十二月からは、東京有楽町にある全国物産のアンテナショップ「むらからまちから館」にも出品しております。

こうした活動の甲斐あって、地場スーパーを中心に販売チャネルも広がりつつあり、今後の



ニッポン全国物産展の様子

励みとなりました。

上社社長は、「今回の商品開発によって、消費者の魚を食べる機会が増え、栄養バランスのとれた食生活を通して健康に成長していく子供たちが増える一助になればこの上ない喜びです」と、しのはらのスリミーの販売に込めた想いを語ってくれました。

(お問い合わせ)

有限会社しのはら

〒九二〇〇八一五

金沢市鳴和台二五三

TEL 〇七六・二五二・二〇〇三

FAX 〇七六・二五二・二二五六

ホームページ www.surimi.jp

〒920-0815 石川県金沢市鳴和台253

(取材・執筆：県連合会経営支援課 専門経営指導員 北川博康)

北川指導員が行った(有)しのはら様への支援は、今年度の石川県商工会優秀支援事例の最優秀賞を受賞しました。

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。